

全数及び定点(週単位報告)把握対象疾患

- 発生動向の概況 《2005年9週》
- 定点医療機関からのコメント
- 全数把握対象疾患 患者報告数
- 五類定点把握対象疾患 患者報告数
 - 男女別
 - 推移グラフ
 - 保健所別
 - 保健所別(定点当たり)
 - 年齢階級別
- 病原体・抗体検査情報
 - 週別検出状況
 - 臨床診断名別検出結果
 - クローズアップ「インフルエンザ」
- 感染症豆知識「流行性耳下腺炎」

東京都医師会感染症予防検討委員会
事務局:東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)
FAX:03-5332-7365
E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp
アドレス: idsc.tokyo-eiken.go.jp/



全数及び定点(週単位報告)把握対象疾患

発生動向の概況 《2005年9週》

(全数把握対象疾患)

・インフルエンザの流行に伴いインフルエンザ脳症が2件報告されている。

区分	疾患	報告 件数	情 報 (検出病原体・血清型・推定感染経路等)	推定感染地
二類	細菌性赤痢	1	ソルネ菌	インド
	腸チフス	1		インドネシア
五類	ウイルス性肝炎	2	B型 推定感染経路: 異性間性的接触1件、同性間性的接触1件	国内
	急性脳炎	3	病原体(インフルエンザ2件、不明1件) インフルエンザによるものは2歳児と5歳児で痙攣、意識障害を呈している 推定感染経路: 経気道感染2件、不明1件	国内
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	孤発性 臨床決定 推定感染経路: 不明	国内
	HIV感染症	11	無症候性キャリア7件、AIDS3件、その他1件 推定感染経路: 異性間性的接触3件、同性間性的接触7件、不明1件	国内8件 タイ1件 不明2件
	ジアルジア症	1	推定感染経路: 飲食等による経口感染	アフガニスタン
	梅毒	1	晩期顕症梅毒 推定感染経路: 不明	国内

(推定される感染地は医師の届出によるものである)

(定点把握対象疾患 ー小児科・インフルエンザ・眼科・基幹定点ー)

・インフルエンザの定点当たり報告患者数は、2週続けて減少したが、報告数の多い状態は続いている。保健所別では町田保健所が定点当たり80.67人と特に多く、定点当たり報告患者数が30人以上の保健所は7保健所であった。

(検査情報)

- ・胃腸炎患者からロタウイルスが多く検出されている。
- ・インフルエンザ患者からAH3(A香港)型およびB型が検出されている。

臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
感染性胃腸炎	1	糞便	アデノウイルス、ロタウイルス	遺伝子
感染性胃腸炎	1	糞便	ロタウイルス	
急性胃腸炎	7	糞便	ロタウイルス	
出血性腸炎	79	糞便	ロタウイルス	
出血性腸炎	79	糞便	ロタウイルス	

臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
伝染性単核症	5	咽頭拭い液	EBウイルス	遺伝子
発熱	11M	糞便	アデノウイルス、コクサッキーウイルスB3型	
不明発しん症	9M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型、エコーウイルス	
インフルエンザB、中耳炎、不明発しん症	11M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
肺炎	1	肺スメア	アデノウイルス	
肺炎	88	肺スメア	インフルエンザウイルスAH3(A香港)型	
気管支炎	6	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型	
インフルエンザ		咽頭拭い液 6件	インフルエンザウイルスAH3(A香港)型	
インフルエンザ		咽頭拭い液 5件	インフルエンザウイルスB型	
インフルエンザ		キット抽出液* 8件	インフルエンザウイルスAH3(A香港)型	
インフルエンザ		キット抽出液* 33件	インフルエンザウイルスB型	

* インフルエンザ迅速診断キット検査後の残り液

施設内感染疑いまたは食中毒疑い等で搬入された検体

臨床診断名	検査試料数	陽性数	検出病原体
感染性胃腸炎または食中毒疑い	175	27	ノロウイルス G I
		49	ノロウイルス G II

定点医療機関からのコメント

文京保健所

・インフルエンザ12名中、A型4名、B型8名。

大田区保健所

・インフルエンザ:A型4名、B型17名。
 ・インフルエンザ:A型5名、B型10名。
 ・インフルエンザ:A型24名、B型40名。
 ・インフルエンザ:A型10名、B型23名、型不明1名。

墨田区本所保健センター

・インフルエンザ:A型が19名、B型が13名、不明1名。
 ・インフルエンザ:A型15名、B型28名。予防接種2回が16名、1回が1名。
 ・インフルエンザ:A型1名。

世田谷保健所

・インフルエンザ:A型11名、B型23名。このうち先月迄にAないしB型に罹患したものの4名あり。
 ・インフルエンザ:20名中、A型3名(ワクチン済2名)、B型8名(ワクチン済4名)。
 ・インフルエンザ:28名中、A型9名、B型14名、A型+B型2名。
 ・インフルエンザ:2名。66歳女B型、75歳女A型。

台東保健所

・インフルエンザ:A型35名、B型30名。
 ・インフルエンザ:A型20名、B型14名。

多摩小平保健所

・インフルエンザ:51名中、A型32名、B型20名。
 ・インフルエンザ:37名中、A型9名、B型28名。
 ・インフルエンザ:83名中、A型24名、B型59名。

西多摩保健所

・インフルエンザ:A型12、B型82、不明7名。

全数把握対象疾患 患者報告数 2005年 9週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		6週	7週	8週	9週	年累計	9週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	重症急性呼吸器症候群							
	痘そう							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	コレラ							8
	細菌性赤痢		1		1	17	8	72
	ジフテリア							
	腸チフス		1		1	2	2	9
	パラチフス					1		2
三類	腸管出血性大腸菌感染症		1			5	6	72
四類	E型肝炎					1	()	(7)
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1				4	(2)	(36)
	エキノコックス症							4
	黄熱							
	オウム病					2		14
	回帰熱							
	Q熱							1
	狂犬病							
	高病原性鳥インフルエンザ							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	炭疽							
	つつが虫病					2		20
	デング熱						1	5
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	ブルセラ症							
	発しんチフス							
ボツリヌス症	1				1			
マラリア	1				2	1	10	
野兎症								
ライム病								
リッサウイルス感染症								
レジオネラ症	1				3	1	21	
レプトスピラ症		1			1	()	(1)	
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	7	4	3		28	4	107
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	1	2		2	9	1	61
	急性脳炎		2		3	6	(1)	(27)
	クリプトスポリジウム症						1	2
	クロイツフェルト・ヤコブ病		1	1	1	4	1	24
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1			2		16
	後天性免疫不全症候群	10	4	7	11	70	17	185
	ジアルジア症				1	1	2	10
	髄膜炎菌性髄膜炎					1		1
	先天性風しん症候群							
	梅毒	2	1	1	1	16	4	80
	破傷風						1	9
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1			4	1	15	

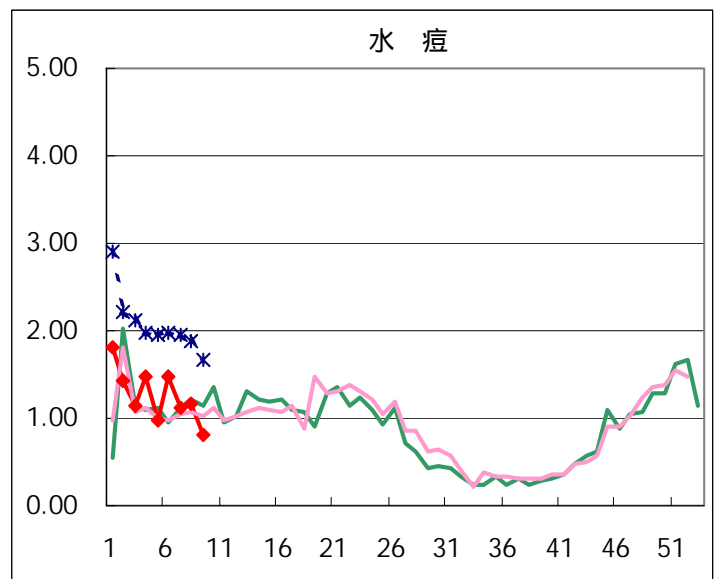
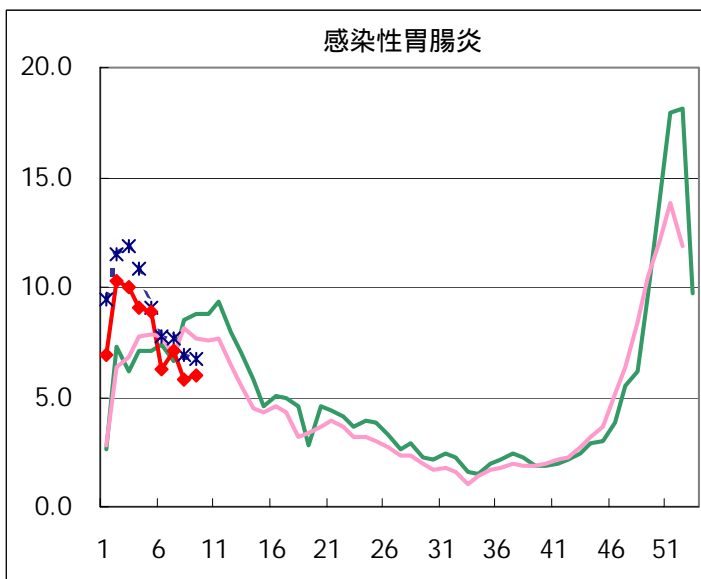
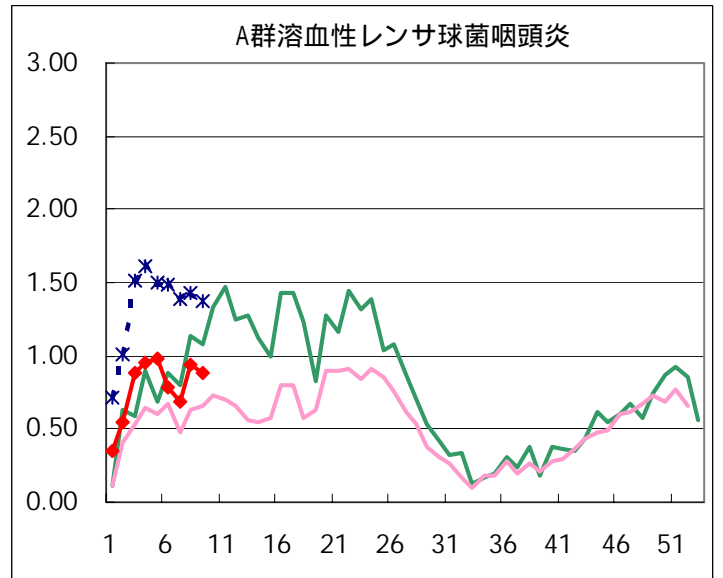
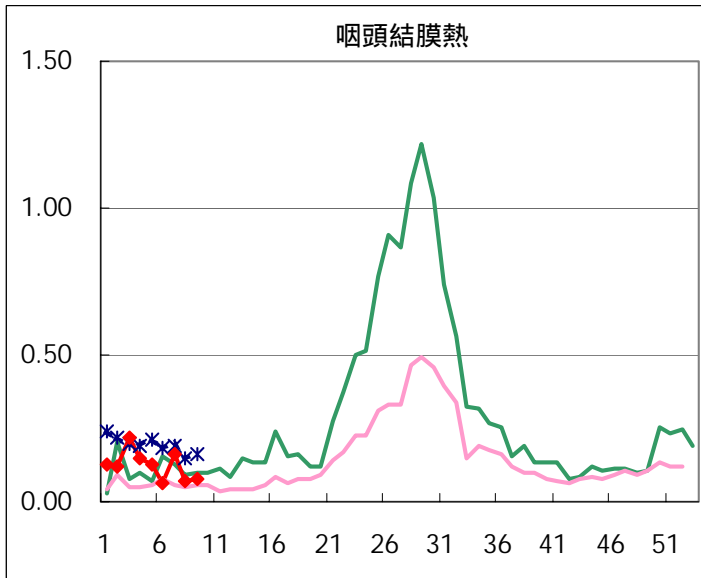
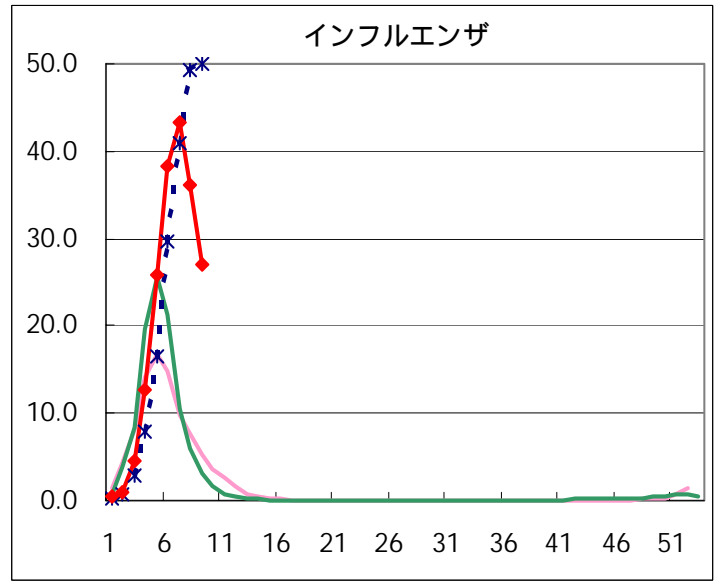
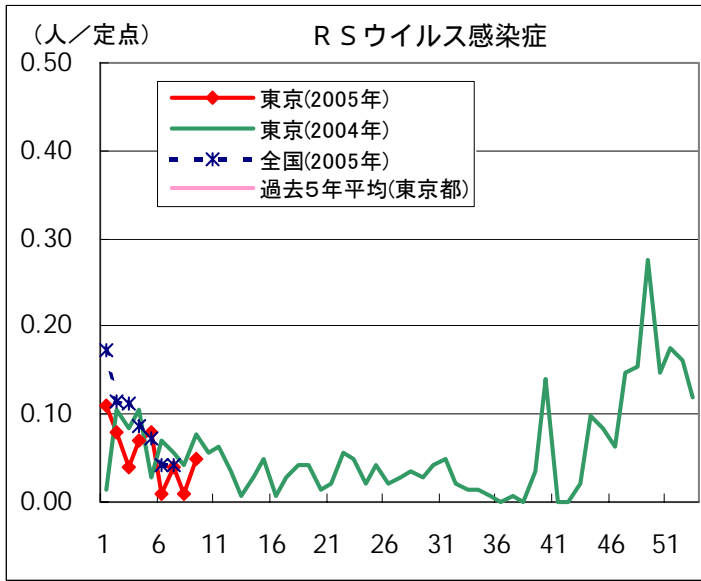
2005/03/14集計(カッコ内の数値は前週分である)。

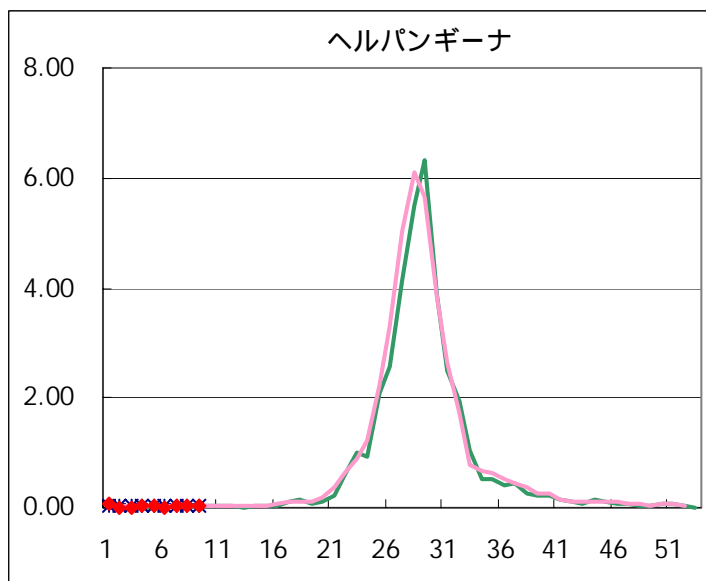
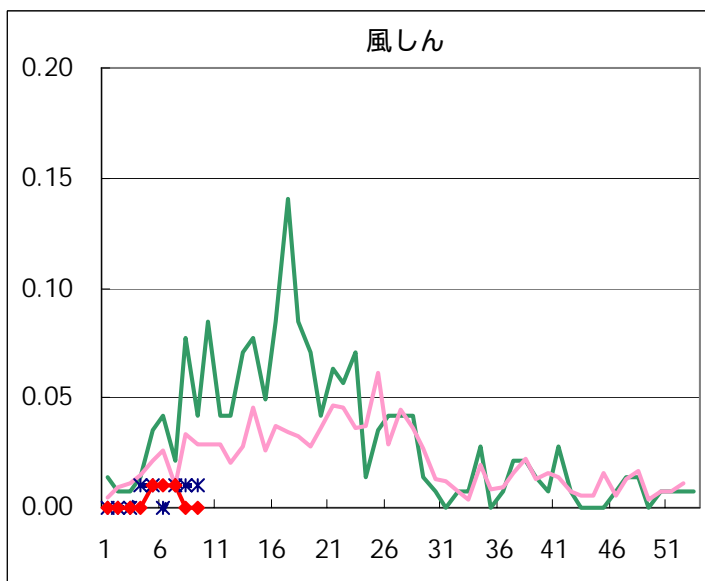
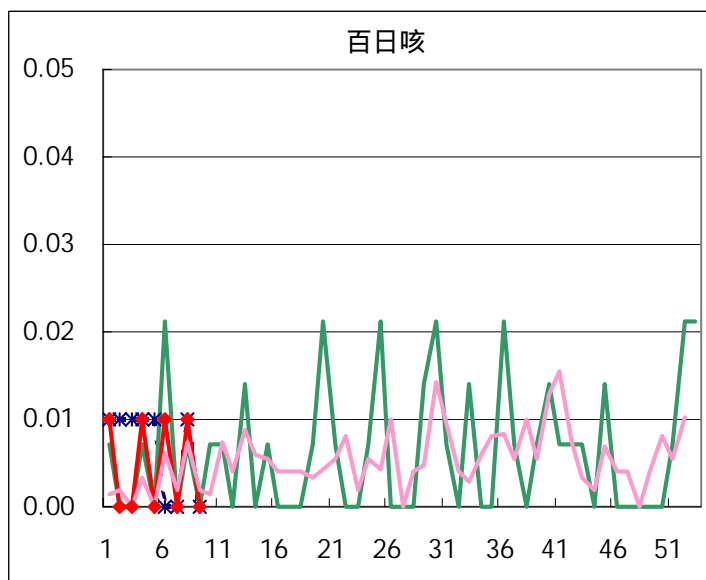
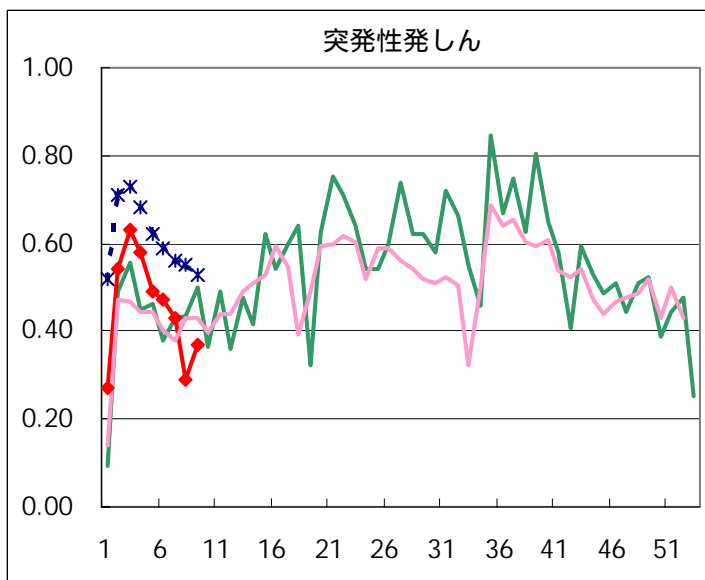
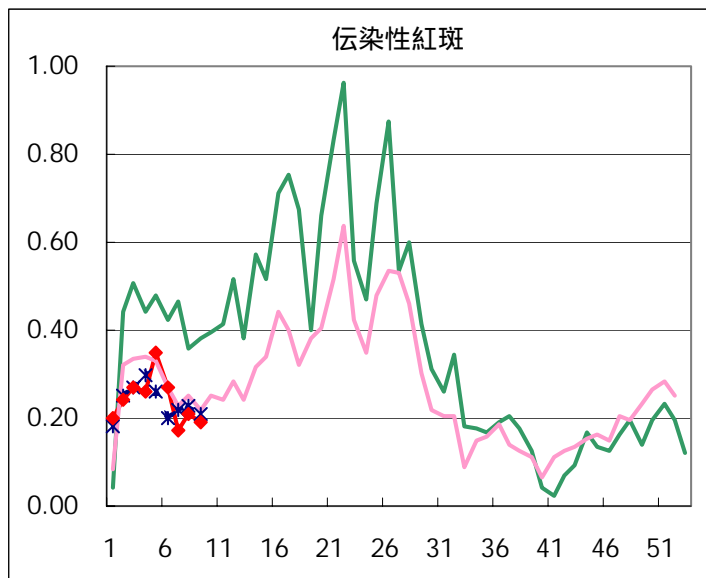
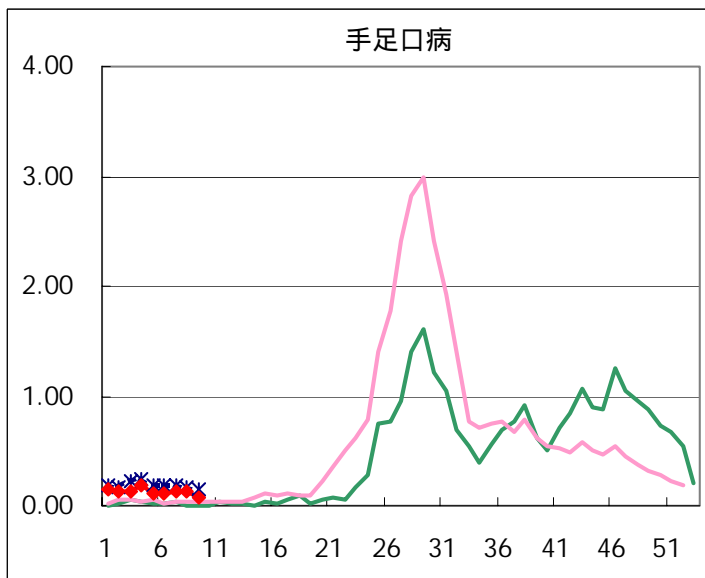
五類定点把握対象疾患 患者報告数【男女別】 2005年 9週

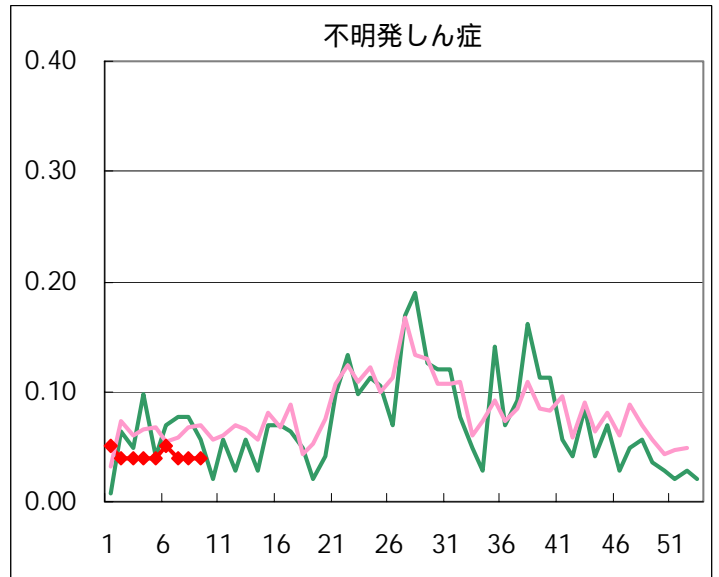
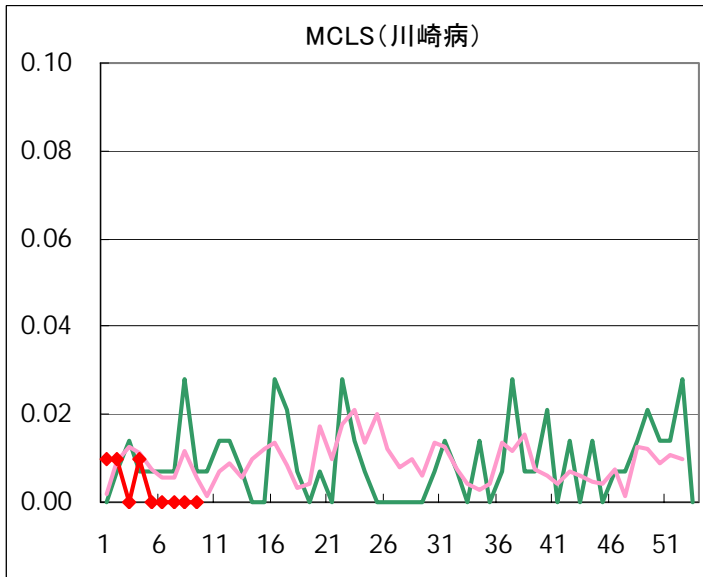
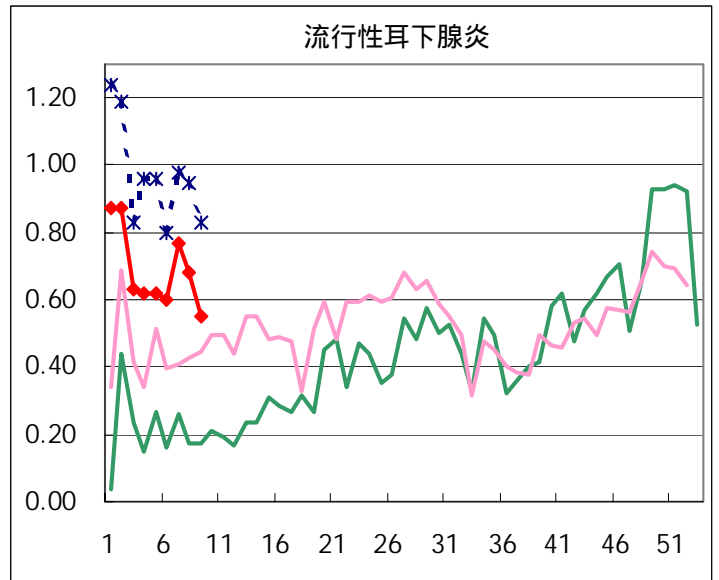
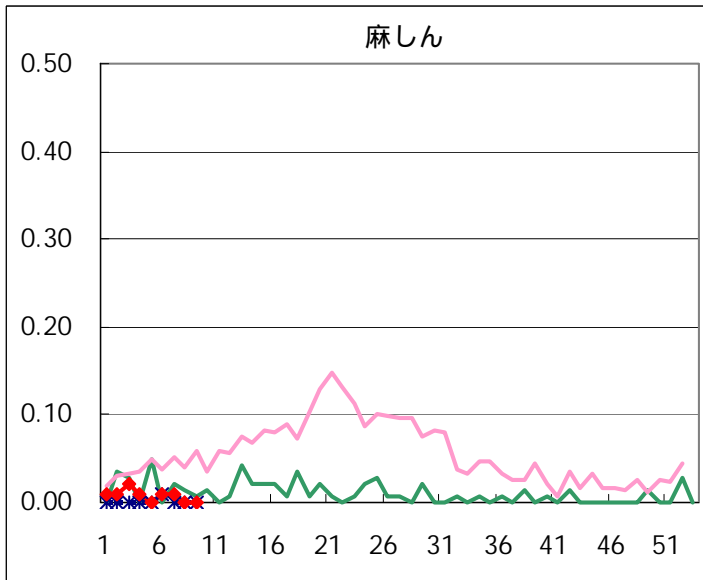
疾病名	性	2005年				4週合計	年累計
		6	7	8	9		
RSウイルス感染症	男	1	2	1	5	9	41
	女		3	1	2	6	27
インフルエンザ	男	3,428	3,785	3,128	2,384	12,725	16,771
	女	3,377	3,928	3,305	2,445	13,055	16,931
咽頭結膜熱	男	7	10	4	4	25	85
	女	2	13	6	8	29	74
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	51	49	74	75	249	525
	女	60	49	60	51	220	472
感染性胃腸炎	男	452	509	447	433	1,841	5,004
	女	435	504	382	418	1,739	4,981
水痘	男	112	88	93	62	355	859
	女	98	71	73	54	296	761
手足口病	男	8	9	12	5	34	88
	女	7	11	7	7	32	77
伝染性紅斑	男	24	9	14	15	62	149
	女	15	15	16	12	58	158
突発性発しん	男	30	29	23	32	114	301
	女	37	32	18	21	108	278
百日咳	男						2
	女	1		1		2	3
風しん	男		1			1	2
	女	1	1			2	2
ヘルパンギーナ	男		1	4	1	6	18
	女	2	2	2	4	10	18
麻しん(成人麻しんを除く)	男	1				1	5
	女	1	1			2	4
流行性耳下腺炎	男	52	64	49	40	205	489
	女	33	45	48	38	164	392
不明発しん症	男	4	3	4	4	15	29
	女	3	2	2	1	8	25
MCLS	男						2
	女						2
急性出血性結膜炎	男						
	女						
流行性角結膜炎	男	4	5	5	2	16	35
	女	6	5	10	3	24	43
細菌性髄膜炎	男						2
	女		1			1	1
無菌性髄膜炎	男						
	女						
マイコプラズマ肺炎	男	1		2		3	8
	女	1	2		2	5	13
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	男						
	女						
成人麻しん	男						
	女						

五類定点把握対象疾患 患者報告数【推移グラフ】 2005年 9週現在

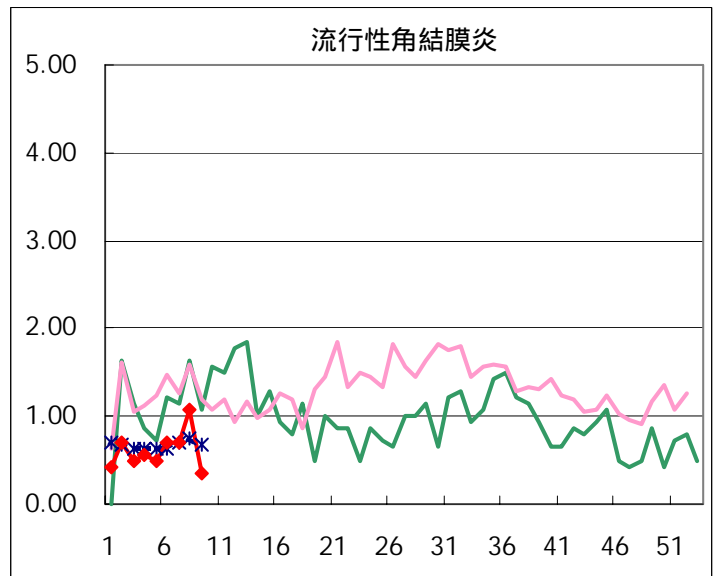
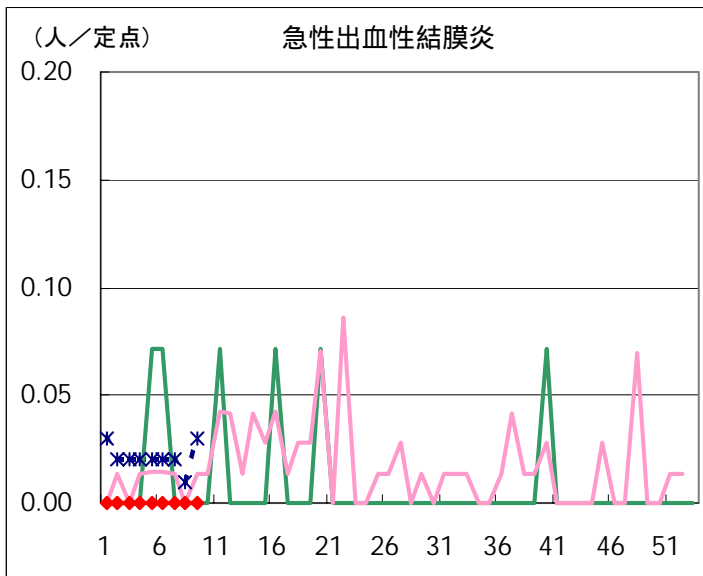
◆ 小児科・インフルエンザ定点



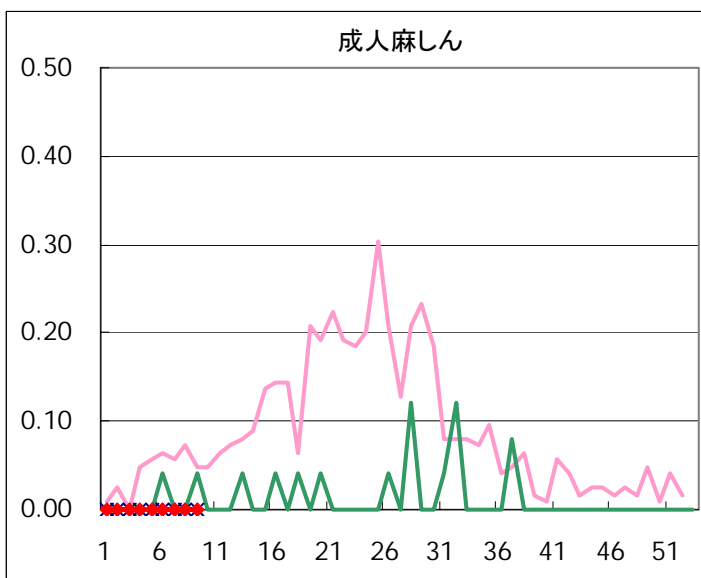
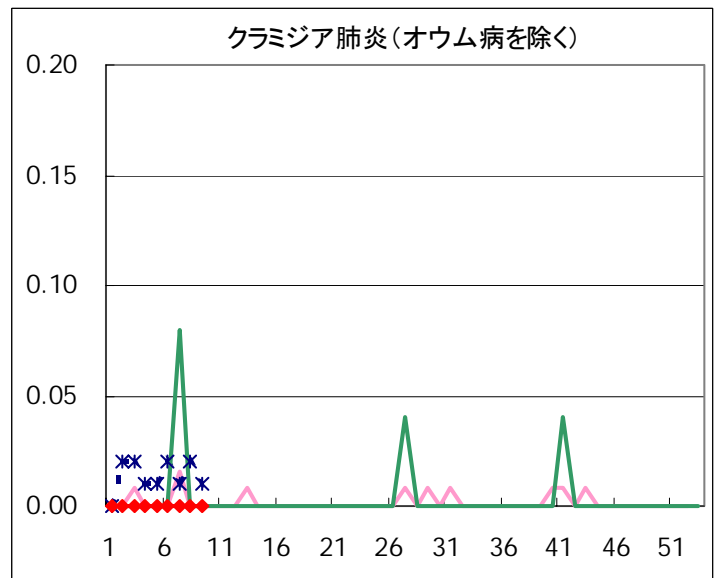
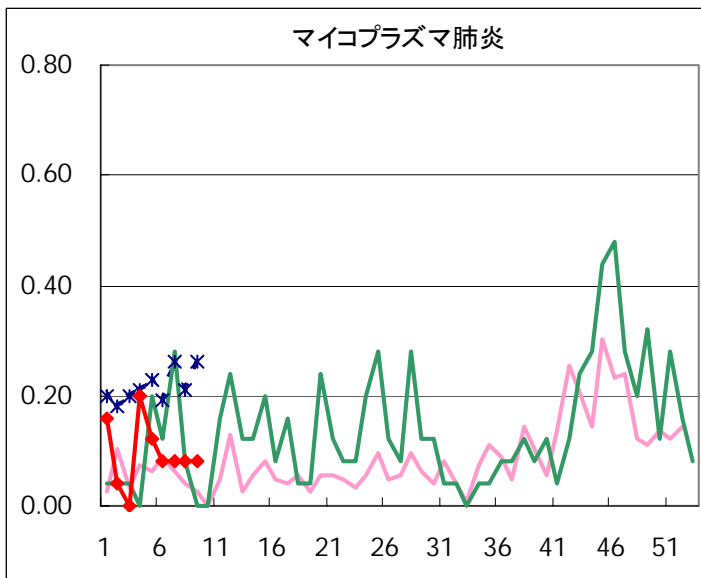
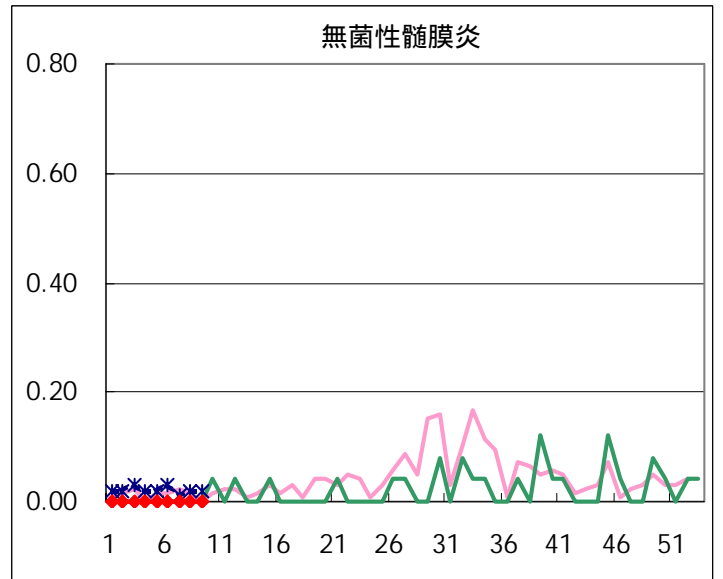
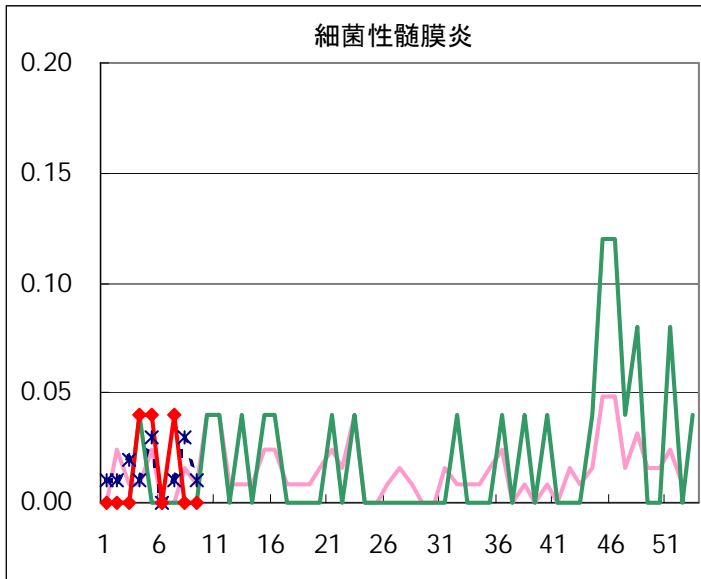




◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



疾患別の定点医療機関数(週報告分)		
定点種別	疾 病	医療機関数
インフルエンザ	インフルエンザ	178
眼 科	急性出血性結膜炎	14
	流行性角結膜炎	
基 幹	細菌性髄膜炎	25
	無菌性髄膜炎	
	マイコプラズマ肺炎	
	クラミジア肺炎	
	成人麻しん	
小児科	上記を除く疾病	142

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】2005年 9週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田		57			3			1		
中央区		76			22				4	
みなと	2	79	6	11	21	2			3	
新宿区		139		1	35	2		1	2	
文京		89		1	17			1		
台東		114		4	24	4	1			
墨田区		92		5	26	3				
江東区		114		3	33	3		2	7	
品川区		129			23		4	1	3	
目黒区		76		2	7	1			2	
大田区		264		6	74	11	1		3	
世田谷		156		2	31	6		1	1	
渋谷区		80		1	29	4		2	2	
中野区		204		1	58	1			2	
杉並	5	278		9	67	5		1		
池袋		65			4	2		1	2	
北区		138		9	31	5		1	3	
荒川区		79			23	3			2	
板橋区		108		6	12	3		2		
練馬区		214		16	26	7	1	1	6	
足立		122			8			1		
葛飾区		207		5	10	4		3	2	
江戸川		216	4	8	32	10	1	1	2	
西多摩		327	1	6	22	1		1		
八王子		71			3	4	2			
南多摩		138		2	51	1			3	
町田		242		12	45	7		2	2	
多摩立川		222		1	16	4	2	1		
多摩府中		357		8	25	13		2	1	
多摩小平		360	1	7	71	10		1	1	
島しょ		16			2					

東京都合計	7	4,829	12	126	851	116	12	27	53	-
定点当り報告数	0.05	27.13	0.08	0.89	5.99	0.82	0.08	0.19	0.37	-

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】2005年 9週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS	合計
千代田									61
中央区									102
みなと				1		1			126
新宿区				6		3			189
文京									108
台東				8					155
墨田区				1					127
江東区				1					163
品川区									160
目黒区				1					89
大田区				5					364
世田谷				1			1		199
渋谷区				3					121
中野区				1					267
杉並		1		3					369
池袋				1					75
北区				2			1		190
荒川区				1					108
板橋区				1					132
練馬区		2							273
足立				1					132
葛飾区				7					238
江戸川				4					278
西多摩				8					366
八王子				2					82
南多摩		1		6					202
町田		1		6			2		319
多摩立川				1					247
多摩府中				2					408
多摩小平				5		1	1		458
島しょ									18

東京都合計	-	5	-	78	-	5	5	-	6,126
定点当り報告数	-	0.04	-	0.55	-	0.36	0.04	-	

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2005年 9週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田		11.40			0.75			0.25		
中央区		19.00			7.33				1.33	
みなと	0.33	11.29	1.00	1.83	3.50	0.33			0.50	
新宿区		19.86		0.17	5.83	0.33		0.17	0.33	
文京		22.25		0.33	5.67			0.33		
台東		28.50		1.33	8.00	1.33	0.33			
墨田区		23.00		1.67	8.67	1.00				
江東区		28.50		1.00	11.00	1.00		0.67	2.33	
品川区		18.43			3.83		0.67	0.17	0.50	
目黒区		19.00		0.67	2.33	0.33			0.67	
大田区		26.40		0.67	8.22	1.22	0.11		0.33	
世田谷		17.33		0.25	3.88	0.75		0.13	0.13	
渋谷区		16.00		0.25	7.25	1.00		0.50	0.50	
中野区		29.14		0.17	9.67	0.17			0.33	
杉並	0.83	39.71		1.50	11.17	0.83		0.17		
池袋		10.83			0.80	0.40		0.20	0.40	
北区		27.60		2.25	7.75	1.25		0.25	0.75	
荒川区		26.33			11.50	1.50			1.00	
板橋区		15.43		1.00	2.00	0.50		0.33		
練馬区		35.67		3.20	5.20	1.40	0.20	0.20	1.20	
足立		24.40			2.00			0.25		
葛飾区		41.40		1.25	2.50	1.00		0.75	0.50	
江戸川		43.20	1.00	2.00	8.00	2.50	0.25	0.25	0.50	
西多摩		46.71	0.20	1.20	4.40	0.20		0.20		
八王子		23.67			1.50	2.00	1.00			
南多摩		34.50		0.67	17.00	0.33			1.00	
町田		80.67		6.00	22.50	3.50		1.00	1.00	
多摩立川		27.75		0.17	2.67	0.67	0.33	0.17		
多摩府中		27.46		0.80	2.50	1.30		0.20	0.10	
多摩小平		45.00	0.17	1.17	11.83	1.67		0.17	0.17	
島しょ		8.00			2.00					

東京都合計	7	4,829	12	126	851	116	12	27	53	-
定点当り報告数	0.05	27.13	0.08	0.89	5.99	0.82	0.08	0.19	0.37	-

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2005年 9週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
千代田								
中央区								
みなと				0.17		1.00		
新宿区				1.00		1.50		
文京								
台東				2.67				
墨田区				0.33				
江東区				0.33				
品川区								
目黒区				0.33				
大田区				0.56				
世田谷				0.13			0.13	
渋谷区				0.75				
中野区				0.17				
杉並		0.17		0.50				
池袋				0.20				
北区				0.50			0.25	
荒川区				0.50				
板橋区				0.17				
練馬区		0.40						
足立				0.25				
葛飾区				1.75				
江戸川				1.00				
西多摩				1.60				
八王子				1.00				
南多摩		0.33		2.00				
町田		0.50		3.00			1.00	
多摩立川				0.17				
多摩府中				0.20				
多摩小平				0.83		1.00	0.17	
島しょ								

東京都合計	-	5	-	78	-	5	5	-
定点当り報告数	-	0.04	-	0.55	-	0.36	0.04	-

五類定点把握対象疾患 患者報告数【年齢階級別】 2005年 9週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん
～6ヶ月	1	10			14	2			3
～1歳		59	1	1	45	4	1	2	24
1歳	3	210	1	3	113	20	4	1	22
2歳		261	1	7	99	16	1	1	3
3歳		320	3	10	75	19		3	1
4歳		354	4	20	79	22	4	2	
5歳	1	360	1	19	68	8	2	2	
6歳		361	1	16	53	12		5	
7歳		328		8	36	3		3	
8歳		253		5	33	3			
9歳		216		5	26	5		1	
10～14歳		533		13	59			4	
15～19歳		126		4	14			1	
20～29歳	2	247		15	137	2		2	
30～39歳		534							
40～49歳		303							
50～59歳		173							
60～69歳		100							
70～79歳		59							
80歳以上		22							
合計	7	4,829	12	126	851	116	12	27	53
先週比	5	-1,604	2	-8	22	-50	-7	-3	12

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻しん を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
～6ヶ月									
～1歳								1	
1歳			1		2			2	
2歳					8			1	
3歳					5				
4歳					17				
5歳					12				
6歳			2		15				
7歳					5				
8歳					5				
9歳			1		1				
10～14歳					4			1	
15～19歳									
20～29歳			1		4		1		
30～39歳							3		
40～49歳							1		
50～59歳									
60～69歳									
70～79歳									
80歳以上									
合計	-	-	5	-	78	-	5	5	-
先週比	-1	0	-1	0	-19	0	-10	-1	0

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

病原体・抗体検査情報

週別検出状況 2005年2週～9週

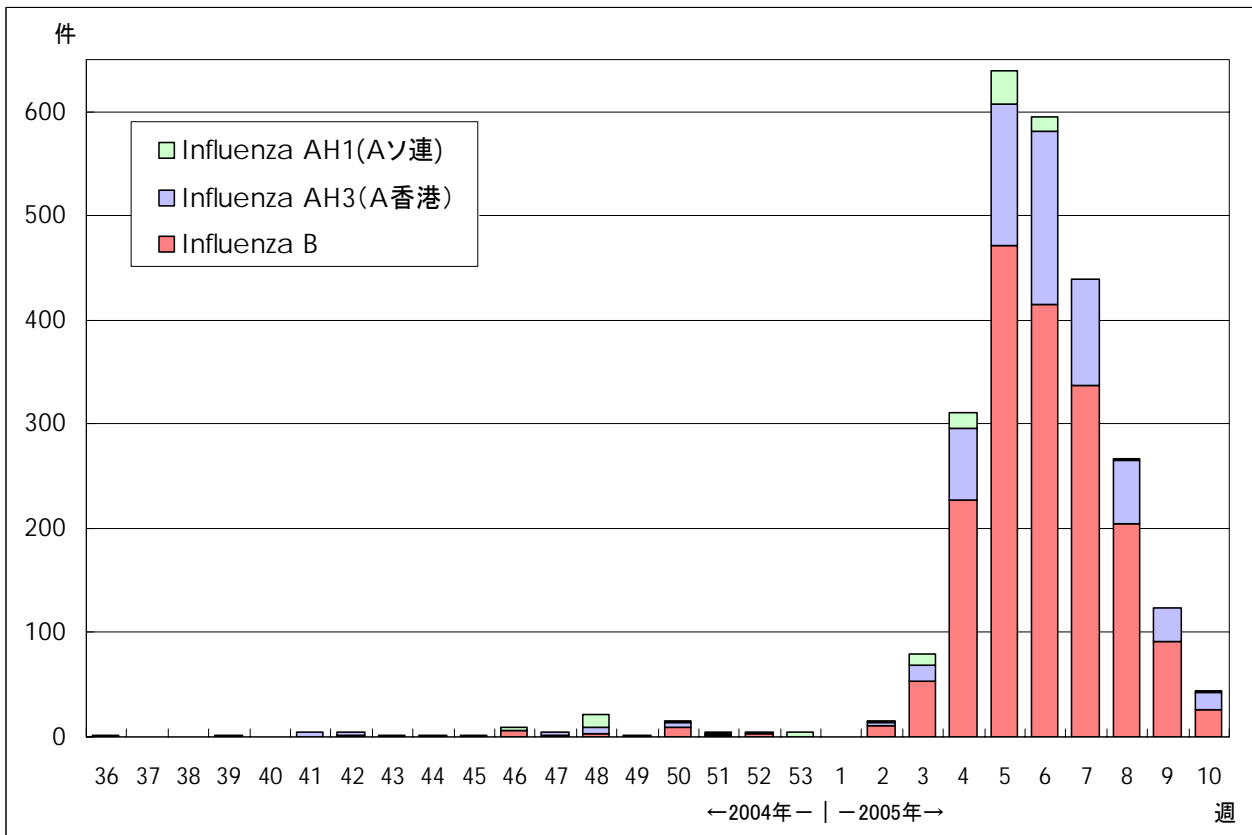
検出病原体・抗体		検体採取週								合計
		2005年								
		2	3	4	5	6	7	8	9	
ウイルス	アデノ	1	5	5	3	1	1	1	3	20
	ライノ				1					1
	ポリオ									
	コクサッキーA群									
	コクサッキーB群			1					1	2
	エコー								1	1
	エンテロ71									
	その他のエンテロ							1		1
	単純ヘルペス			1						1
	水痘・帯状疱疹	1								1
	ヘルペス6/7	1		1	3	1	3	2	2	13
	EB						1	1	1	3
	サイトメガロ									
	ムンプス				1	2	1			4
	麻疹									
	風しん									
	パルボB19									
	RS									
	ノロ	224	78	43	47	28	18	71	76	585
	ロタ	2	1	3		1	3	7	5	22
インフルエンザAソ連型	1			1		3			5	
インフルエンザA香港型		19	42	16	21	14	14	14	140	
インフルエンザB型	1	4	50	78	64	80	53	39	369	
デング										
その他のウイルス					1				1	
細菌	カンピロバクター			1						1
	サルモネラ									
	腸管出血性大腸菌									
	その他の腸管系病原菌									
	溶血性レンサ球菌	7			1	1	2	2	1	14
	MRSA	7			1		3	2		13
	MSSA	2		2						4
	その他の細菌		1	1	3		2			7

臨床診断名別検出結果 2005年2週～9週

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	合計
搬入検体数	795	9	35	1818	18			10		1	1	13	4	1	4		163	
アデノ			3	4				4				2	2				5	20
ライノ												1						1
ポリオ																		
コクサッキーA群																		
コクサッキーB群																	2	2
エコー												1						1
エンテロ71																		
その他のエンテロ																	1	1
単純ヘルペス																	1	1
水痘・帯状疱疹しん														1				1
ヘルペス6/7	1		1	1						1		4					5	13
EB																	3	3
サイトメガロ																		
ムンプス					1								3					4
麻疹																		
風しん																		
パルボB19																		
RS																		
ノロ				585														585
ロタ				22														22
インフルエンザAソ連型	5																	5
インフルエンザA香港型	139		1															140
インフルエンザB型	362		6														1	369
カンピロバクター				1														1
サルモネラ																		
腸管出血性大腸菌																		
その他の腸管系病原菌																		
溶血性レンサ球菌																		14
その他の病原体																		25
備考	「その他の病原体」は「週別検出状況」の表にある「デング」「その他のウイルス」「MRSA」「MSSA」「その他の細菌」の合計である。																	

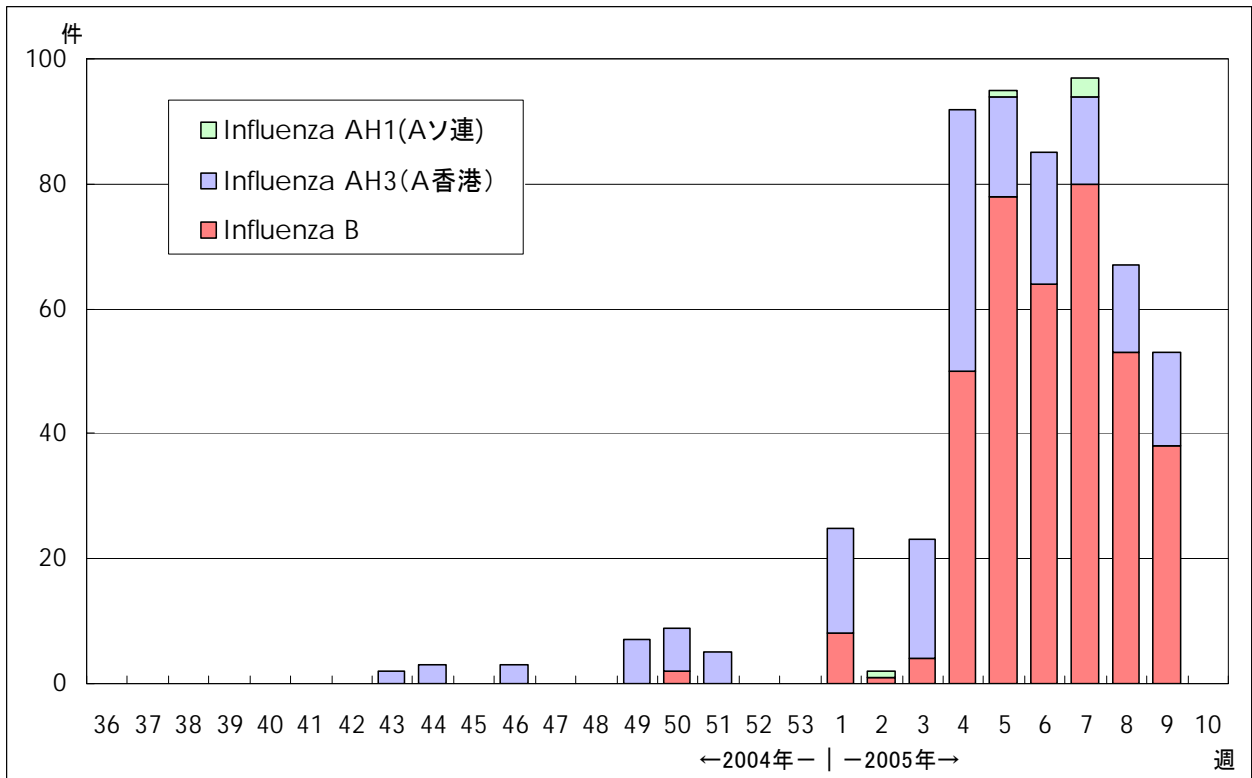
クローズアップ (インフルエンザ)

2004 - 05シーズンのインフルエンザウイルス検出状況 (全国)



IASR 病原微生物検出情報 (2005年3月14日現在報告数)

2004 - 05シーズンのインフルエンザウイルス検出状況 (東京都)



ウイルス研究科・多摩支所微生物研究科

<感染症豆知識>

流行性耳下腺炎

流行性耳下腺炎はムンプスウイルス感染症であり、片側あるいは両側の唾液腺腫脹が特徴で「おたふくかぜ」とも呼ばれる。通常予後は良好であるが、合併症として髄膜炎をはじめ、睾丸炎、卵巣炎、稀には膀胱炎もみられる。難聴、不妊などの障害を残す。

感染症法に基づく感染症発生動向調査では5類感染症として、小児科定点から患者数が毎週報告される。常にどこかの地域で患者が発生しており、3～4年の流行周期がみられる。最近では2000年末より患者報告数が増加し、2001年の全国の患者報告総数は254,711人と、過去10年間で最多であった。2002～2003年に患者は減少したが、2004年の患者報告数は128,604人(定点あたり42.32人)と2003年の84,743人(同27.86人)を上回った。

2004年の流行性耳下腺炎患者の年齢は、4～5歳がピークで3～6歳が63%を占めている。ムンプスワクチンは小児の定期予防接種に含まれていないので、他の定期予防接種を優先的に受ける必要があるが、3歳になる前にムンプスワクチンの任意接種を受けることが必要である。一方、15歳以上の青年～成人も患者の2.2%を占めている。小児のみならず成人でもワクチン未接種で罹患歴がない場合はワクチン接種が有効である。

2004年の都道府県別患者報告数をみると、東京都は3,250人(定点あたり22.89人)で全国37番目と少ない方であったが、2004年の第4四半期から過去5年平均を上回り、2005年に入ってから高めで推移している。今後の患者発生状況に注意が必要である。

(文責 山下和予)